

編集後記

(64巻 第12号 2018年12月)

先日、仙台で行われた第32回日本泌尿器内視鏡学会に参加した今後のロボット手術を含めた内視鏡手術はどのような変化を遂げるのだろうか。30年前には自分がロボットを使って手術をすることなど思いもしなかった。30年後の手術も、今は想像も出来ないものになっているのかもしれない。AI (artificial intelligence) 技術や VR (Virtual Reality), AR (Augmented Reality) などのテクノロジーが導入されるのは間違いない。ただ、最後は人間の判断が必要なもののままであってほしい。

今回の学会は秋田大学の主催で行われた。私は秋田大学の同門会員でもあるので秋田市内で開催してほしかったという思いもあったが 開催期間中に「なまはげ」がユネスコの無形文化遺産に登録されたといううれしいニュースも届いた。秋田大学のみなさん最大級に楽しい学会をお世話いただき本当にありがとうございました。

(小川 修)